

1

関数 $f(x) = x - e \log x$ について、次の問いに答えよ。ただし、 e は自然対数の底である。

- (1) $f(x)$ を微分せよ。
- (2) $f(x)$ の増減を調べ、極値を求めよ。
- (3) 曲線 $y = f(x)$ 、 x 軸および直線 $x = 1$ で囲まれた部分の面積 S を求めよ。
- (4) (2) の結果を用いて、 e^π と π^e の大小を比較せよ。ただし、 π は円周率である。

解答 (1) $f'(x) = 1 - \frac{e}{x}$ (2) $x = 0$ で極小値 0 (3) $\frac{e^2}{2} - e - \frac{1}{2}$ (4) $e^\pi > \pi^e$

解説

(1) $f'(x) = 1 - \frac{e}{x}$

(2) 真数条件より $x > 0$

$f'(x) = 0$ とすると $x = e$

よって、 $f(x)$ の増減表は右ようになる。

したがって、 $f(x)$ は $x = 0$ で極小値 0 をとる。

(3) S は右の図の斜線部分の面積である。

$$\begin{aligned} \text{よって } \int_1^e f(x) dx &= \left[\frac{x^2}{2} - e(x \log x - x) \right]_1^e \\ &= \frac{e^2}{2} - e - \frac{1}{2} \end{aligned}$$

(4) $\log e^\pi$ と $\log \pi^e$ の大小を考える。

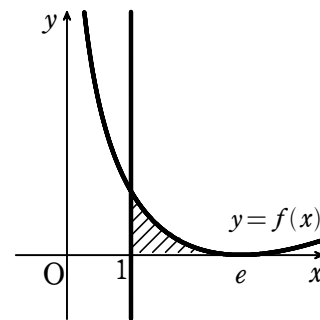
$$\log e^\pi - \log \pi^e = \pi - e \log \pi = f(\pi)$$

(2) より、 $x > e$ において $f(x) > 0$ であるから

$$f(\pi) > 0 \quad \text{すなわち} \quad \log e^\pi > \log \pi^e$$

ゆえに $e^\pi > \pi^e$

x	0	\dots	e	\dots
$f'(x)$		$-$	0	$+$
$f(x)$		\searrow	0	\nearrow



② [中央大]

- (1) $x > -1$ において, 不等式 $\log(1+x) \leq x$ が成り立つことを示せ。
- (2) $x \geq 0$ のとき, 不等式 $x - \frac{x^2}{2} \leq \log(1+x)$ が成り立つことを示せ。
- (3) 自然数 n に対し $a_n = \left(1 + \frac{1}{n^2}\right) \left(1 + \frac{2}{n^2}\right) \cdots \left(1 + \frac{n}{n^2}\right)$ と定める。このとき, 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ。

解答 (1) 略 (2) 略 (3) \sqrt{e}

解説

- (1)
- $f(x) = x - \log(1+x)$
- とおく。

$$f'(x) = 1 - \frac{1}{1+x} = \frac{x}{1+x}$$

 $f'(x) = 0$ とすると $x = 0$ よって, $f(x)$ の増減表は右のようになる。ゆえに, $f(x)$ は $x=0$ で最小値 0 をとる。したがって, $x > -1$ のとき, $f(x) \geq 0$ すなわち $\log(1+x) \leq x$ が成り立つ。

x	-1	\cdots	0	\cdots	
$f'(x)$	\nearrow		$-$	0	$+$
$f(x)$	\nearrow		\searrow	0	\nearrow

- (2)
- $g(x) = \log(1+x) + \frac{x^2}{2} - x$
- とおく。

$$g'(x) = \frac{1}{1+x} + x - 1 = \frac{x^2}{1+x}$$

よって, $x \geq 0$ のとき, $g'(x) \geq 0$ より, $g(x)$ は $x \geq 0$ において単調に増加する。このことと, $g(0) = 0$ より, $x \geq 0$ のとき $g(x) \geq 0$ すなわち $x - \frac{x^2}{2} \leq \log(1+x)$ が成り立つ。

- (3) すべての自然数
- n
- に対し
- $a_n > 0$
- であるから, 両辺の自然対数をとると

$$\log a_n = \log \left\{ \left(1 + \frac{1}{n^2}\right) \cdots \left(1 + \frac{n}{n^2}\right) \right\} = \sum_{k=1}^n \log \left(1 + \frac{k}{n^2}\right)$$

ここで, (1) と (2) より, $x \geq 0$ のとき

$$x - \frac{x^2}{2} \leq \log(1+x) \leq x$$

が成り立つから, $x = \frac{k}{n^2}$ (> 0) とおくと $\frac{k}{n^2} - \frac{k^2}{2n^4} \leq \log \left(1 + \frac{k}{n^2}\right) \leq \frac{k}{n^2}$ ゆえに $\sum_{k=1}^n \left(\frac{k}{n^2} - \frac{k^2}{2n^4}\right) \leq \log a_n \leq \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2}$ ここで $\sum_{k=1}^n \left(\frac{k}{n^2} - \frac{k^2}{2n^4}\right) = \frac{1}{n^2} \cdot \frac{1}{2} n(n+1) - \frac{1}{2n^4} \cdot \frac{1}{6} n(n+1)(2n+1)$

$$= \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{n}\right) - \frac{1}{12n} \left(1 + \frac{1}{n}\right) \left(2 + \frac{1}{n}\right)$$

$$\text{また } \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} = \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{n}\right)$$

よって, $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \left(\frac{k}{n^2} - \frac{k^2}{2n^4}\right) = \frac{1}{2}$, $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \frac{k}{n^2} = \frac{1}{2}$ であるから, はさみうちの原理に

$$\text{より } \lim_{n \rightarrow \infty} \log a_n = \frac{1}{2} \quad \text{したがって } \lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \sqrt{e}$$

1

関数 $f(x) = x - e \log x$ について、次の問いに答えよ。ただし、 e は自然対数の底である。

- (1) $f(x)$ を微分せよ。
- (2) $f(x)$ の増減を調べ、極値を求めよ。
- (3) 曲線 $y = f(x)$ 、 x 軸および直線 $x = 1$ で囲まれた部分の面積 S を求めよ。
- (4) (2) の結果を用いて、 e^π と π^e の大小を比較せよ。ただし、 π は円周率である。

② [中央大]

- (1) $x > -1$ において, 不等式 $\log(1+x) \leq x$ が成り立つことを示せ。
- (2) $x \geq 0$ のとき, 不等式 $x - \frac{x^2}{2} \leq \log(1+x)$ が成り立つことを示せ。
- (3) 自然数 n に対し $a_n = \left(1 + \frac{1}{n^2}\right) \left(1 + \frac{2}{n^2}\right) \cdots \left(1 + \frac{n}{n^2}\right)$ と定める。このとき, 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ。